VM-5 シリーズモニタ

仕様書

MODEL VM-5U　デュアルサイズミックモニタ

CE

型名コード / 付加仕様コード(付加仕様コードは指定をしない場合は記入不要)

VM-5U-□□□□□□ - □□□

モニタレンジ		入力信号		低域遮断周波数*2		高域遮断周波数*2		整流方式		レコーダ出力		復帰方式 (DANGER)		復帰方式 (ALERT)		復帰方式 (OK)	
1	0～10mm/s pk	1	CV-851*5	1	10Hz以下	1	100Hz	0	平均値	0	4～20mADC	0	自動復帰	0	自動復帰	0	自動復帰
2	0～20mm/s pk	2	CV-86	2	20Hz	2	200Hz	1	pk-pk	1	1～5VDC	1	自己保持	1	自己保持	1	自己保持
3	0～50mm/s pk	3	CV-87*5	3	50Hz	3	500Hz	2	rms (付加仕様/RMS)	2	出力カード /IS□又は/RE□ オプション付						
4	0～100μm pk-pk	4	CV-852*5	4	9.5Hz地震フィルタ*3	4	1kHz										
5	0～200μm pk-pk			5	14Hz地震フィルタ*3	5	2kHz										
6	0～500μm pk-pk			6	15Hz地震フィルタ*3	6	5kHz										
7	0～10mm/s rms*1			7	40Hz(36dB/oct) 配管フィルタ*3	7	10kHz										
8	0～20mm/s rms*1			8	60Hz(36dB/oct) 配管フィルタ*3												
A	0～50mm/s rms*1																
B	0～0.5in/s pk																
C	0～1in/s pk																
D	0～2in/s pk																
E	0～5mils pk-pk																
F	0～10mils pk-pk																
G	0～20mils pk-pk																
H	0～0.5in/s rms*1																
J	0～1in/s rms*1																
K	0～2in/s rms*1																

注) *1　rms レンジは RMS 整流回路オプションが必要です。

*2　高域遮断周波数≧低域遮断周波数×10 で選択してください。
モニタレンジが変位振動の場合(例:0～100μm pk-pk)においては、配管や地盤を伝わってくる低周波振動等の環境振動を検出して、測定対象物の本来の振動値よりも大きく指示、出力されることがありますので、低域遮断周波数の選定にはご注意ください。
特に低周波の環境振動が大きな場合には地震フィルタや配管フィルタを推奨いたします。

*3　地震フィルタおよび配管フィルタはフィルタカード(オプション)が必要です。
地震フィルタは外部接点信号により ON/OFF(IN/OUT)できます。(納入時 OFF(OUT))尚、地震フィルタ OFF(OUT)時の低域遮断周波数は 2Hz です。
配管フィルタは常時 ON(IN)です。OFF(OUT)にはできません。

- □□□ - □□□ - □

注) *4　ファーストアウト機能を使用される場合は同一ラック内の全てのモニタユニットをファーストアウト ON に設定してください。

励磁方式 (DANGER)		励磁方式 (ALERT)		励磁方式 (OK)		警報遅延時間 (DANGER)		警報遅延時間 (ALERT)		警報出力方式		ファーストアウト*4	
0	常時非励磁	0	常時非励磁	0	常時非励磁	0	3秒	0	3秒	1	CH1： 2点 (DANGER1,ALERT1) CH2： 2点 (DANGER2,ALERT2)	0	OFF
1	常時励磁	1	常時励磁	1	常時励磁	1	1秒	1	1秒			1	ON
						2	6秒	2	6秒	2	CH1： 4点 (DANGER1,DANGER2, ALERT1,ALERT2) CH2： なし		
						3	なし	3	なし				

/RMS/(IS □ 又は RE□)/5G □ /TRP/EX□

実効値整流	アイソレート出力		レコーダ オプション出力		シングル・ユニット 収納ラック組込 電源電圧		熱帯仕様	本安感度補正	
仕様コードの整流方式の指定が2の場合必ず指定のこと。	0	4～20mADC	2	0～-10VDC	0	85～264VAC		1	TIIS(IEC)
	1	1～5VDC	3	0～10VDC	1	24VDC		7	NEPSI
	2	0～-10VDC	4	0～-5VDC	2	110VDC		8	KTL
	3	0～10VDC	5	0～5VDC					
	4	0～-5VDC							
	5	0～5VDC							
	仕様コードのレコーダ出力の指定が 2 の場合必ず指定のこと。								

*5　CV-85,CV-87 入力の場合、短絡検知はできません。

指定事項

警報設定値	DANGER1 :＿＿＿＿＿＿ ALERT1 :＿＿＿＿＿＿ DANGER2 :＿＿＿＿＿＿ ALERT2 :＿＿＿＿＿＿ 指定のない場合は、納入時 DANGER　:　モニタレンジの100% ALERT　:　モニタレンジの90%
シーケンス設定値 (シーケンス接点 ON 時に、警報設定値を拡大する為の設定値です)	:＿＿＿＿＿＿ 1.0～10.0 倍(0.1 倍ステップ) 指定のない場合は、納入時 1.0 倍 注意：シーケンス回路動作中に指定数値倍された警報設定値がモニタレンジの 110%以下になるようにシーケンス設定値を設定してください。 110%を超えて設定された場合、警報が出力されないことがあります。
サプレッション機能	:＿＿＿＿＿＿ モニタレンジの 0.0～10.0%(0.1%ステップ) 指定のない場合は、納入時 2.0% 注意：測定値がサプレッション機能設定値以下の場合は0%として表示、出力します。

一般標準仕様

警報設定点数	4 点(DANGER1,ALERT1,DANGER2,ALERT2)
警報設定範囲	モニタレンジの 0～110%
警報設定精度	±1.0% of F.S. 以内
警報設定繰り返し精度	±0.1% of F.S. 以内
警報出力	5点　(DANGER1,ALERT1,DANGER2,ALERT2,OK) 又は6点　(DANGER1,ALERT1,DANGER2,ALERT2,OK1,OK2)
振動測定値	LCD デジタルメータ5桁　(7セグメント，バックライト付) LCD バーグラフメータ　(40セグメント，バックライト付) ＊ 測定値、警報設定値の各指示はデジタルメータとバーグラフメータに同時表示
その他	

一般標準仕様

警報表示灯	DANGER　:　(赤色LED) ALERT　:　(黄色LED)
異常警報表示灯	OK　:　(緑色LED)
バイパス表示灯	BYPASS　:　(赤色LED)
入力トランスデューサ	CVシリーズ 入力点数　:　2点
入力インピーダンス	約10kΩ (CV-851入力) 約50kΩ (CV-852, CV-86, CV-87入力)
操作用入力 (裏面より)	接点形式:ドライ接点 外部リセット用接点 シーケンス用接点
バーグラフメータ	レコーダ出力変換精度　±2.5% of F.S.
デジタルメータ	レコーダ出力変換精度　±1.0% of F.S.
レコーダ出力変換精度	±0.5% of F.S. at 校正周波数 at 25°C ±2.0% of F.S. at 校正周波数 at 0～65°C (校正周波数は遮断周波数レンジにより決まります)
レコーダ出力 (裏面より)	モニタレンジに比例した電圧または電流出力 1～5VDC (出力インピーダンス：250Ω) 4～20mADC (最大抵抗負荷：500Ω) 0～-10VDC*,0～10VDC*,0～-5VDC*,0～5VDC* (出力インピーダンス：100Ω) (*オプション) 出力点数　:　2点
モニタ出力 (前面,裏面より)	センサからの入力信号をバッファアンプを通して出力 信号レベル　:　±15V (CV-85,CV-87入力) 0.8～22VDC (CV-86入力) 出力インピーダンス　:　約100Ω (負荷抵抗 50kΩ以上)
温度範囲	使用温度　:　0～65°C 保存温度　:　-30～+85°C 相対湿度　:　20～95%RH (非凝結)
材質および塗装色	フェースプレート　:　アルミニウム マンセルN-4.0 (近似)
質　量	モニタ：　max.0.7kg (シングル・ユニット収納ラック装着時 max.2.5kg)

新川センサテクノロジ株式会社

6H14-170 Rev.2
発行日：2015 年 2 月
改訂日：2017 年 5 月